

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
- ・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
- ・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
- ・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
- ・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
- 川崎ブレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
- 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
- 川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617

●元住吉西口(ブレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・果物 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
- ・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉Gビル2F Tel.044-430-6963
- ・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
- ・花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
- ・鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
- ・ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
- ・パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
- ・カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
- ・コーヒー専門 MUI(旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
- ・カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
- ・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
- ・コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
- ・時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
- ・広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
- ・ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
- ・理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- ・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
- ・調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
- ・飲み食い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
- ・古本・CD 凸と凹と 中原区木月2-10-3
- ・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
- ・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
- ・ステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
- ・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
- ・鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880

●元住吉近郊

- ・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688

●武蔵小杉近郊

- ・喫茶店 Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
- ・カフェ COSUGI CAFE 中原区小杉町1-403-53 COSUGI VILLAGE1F Tel.044-543-9151
- ・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
- ・カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822

●東横線沿線

- ・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
- ・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
- ・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
- ・カフェレストラン カンファーマツリ 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記事は無料です。

MAGAZINE 発行人 塚田親一 発行 音楽好きな友の会 〒211-0004 川崎市中區区井田中ノ町33-9(株)アルケファクトリー内 TEL 044-799-7127 FAX 044-799-7128 2017-8-18(700) PrintingRK

M

MAGAZINE

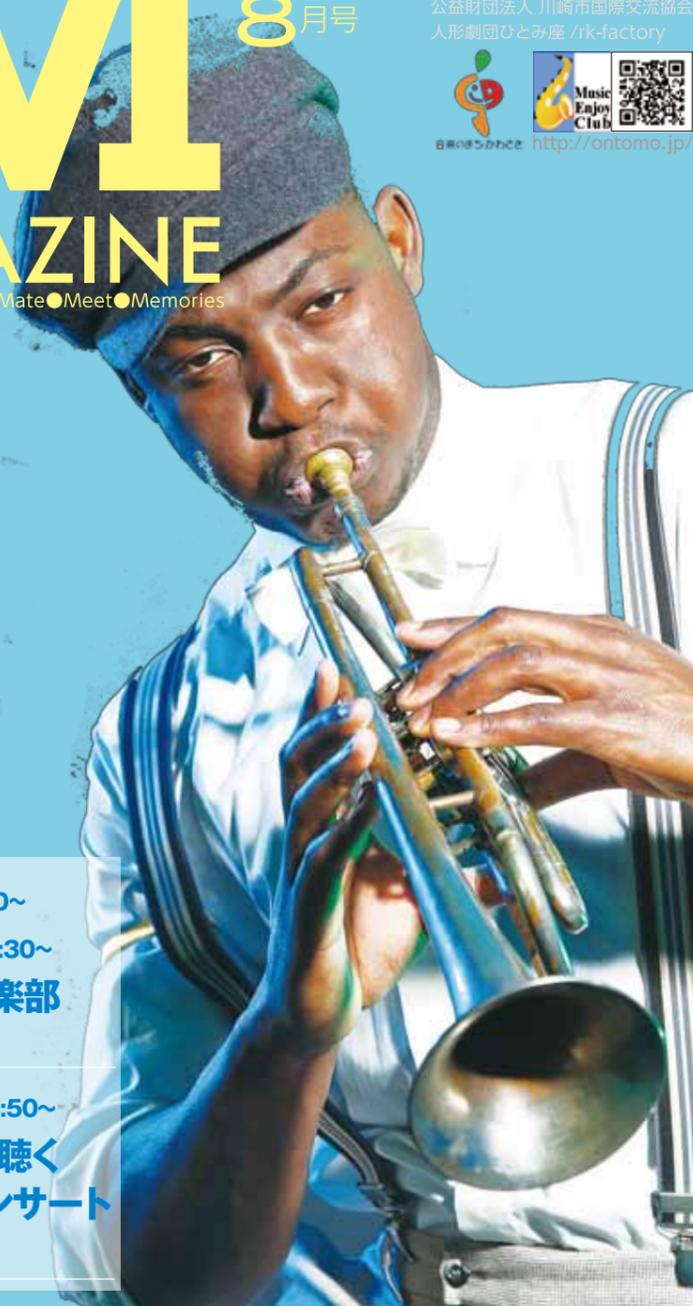
●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

2017 8月号

元住吉の気軽な音楽会

後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人 川崎市国際交流協会 人形劇団ひとみ座 /rk-factory

http://ontomo.jp/



8月6日(日) 13:30~

8月20日(日) 13:30~

音友レコード倶楽部

場所イダカフェ

8月28日(月) 13:50~

ママのおひざで聴く

ヴァイオリンコンサート

場所イダカフェ

ヴァイオリニストの田島華乃です。



先日、ベビーパーク(幼児教室)とのコラボイベントを行いました。まずは、ちびヴァイオリン体験。小さな赤ちゃんには、楽器を身体にくっつけて音をならしてあげると、手や足をバタバタと動かしニコニコ笑顔になりました。一番大きな子は3歳で、楽器の構え方や弓の動かし方をレクチャーすると、すぐに覚えてくれて音を出していました。色々な年齢の子がいて、ママたちは自分の子や、他のお子さんを見て、それぞれの反応の仕方の違いなどに興味をもたれていました。そしていよいよコンサート。普段、元住吉のidacafeで行っている「ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート」と同様に、本格クラ

連載 20 コラボイベントレポ

くれる子がたくさんいました。コンサートの後は、ベビーパークさんのレクチャー。子供たちの才能をのばす、手遊び歌や、模倣動作を促すコツ等、ママが楽しく学べる時間でした。最後はまた、ちびヴァイオリン体験コーナーで、最初にさわってくれた時よりも積極的に、コツをつかんで音を出してくれました。子供たちの吸収するチカラには、いつも驚かされます。



シック、リトミックや手遊び歌を取り入れた童謡、おもちゃの楽器で合奏、巨大絵本の弾き語り、をお届けしました。みんなすごい集中力で聴いてくれました。速くてカッコイイ曲はテンションがあがって、ノリノリで身体を動かして

ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート

8月28日(月)「イダカフェ」

開場: 13:30 / コンサート: 13:50~14:30

コンサート終了後の15:00~15:30~イダカフェで個人レッスンをします♪(限定2名)
★一人1台レンタル楽器をご用意します
★お子さん、ママどちらでもOK ★参加費2500円
お問い合わせ・ご予約は kano.otonoya@gmail.com

1~3時間迄¥3,000、1日レンタル¥5,000 (9:00~21:00まで)



音楽演奏会、写真や絵画を展示したい、手作り雑貨を販売したい、など各種教室に
井田小学校正門前

idacafe

コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9

音楽好きな友の会 Music Enjoy Club

音楽が好きなら、一緒に楽しみませんか? ボランティアスタッフ募集中!

レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営を一緒に楽しみませんか?年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で、いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!

入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当: 塚田)

くじら座 in アコースティック・ライブ 後記

2017.6/17(Sat)

くじら座 KUJIRAZUKA

去る6月17日の夜、くじら座inアコースティックライブを開催した「くじら座(牧野ケント&牧野みみのユニット)」です。この日のライブは、神奈川県内や東京都内で活躍している女性ユニット「Puca(土田聡子&川北愛子)」をゲストに招いてお届けしました。ライブ前に「一歳未満の子供も大丈夫ですか?」とお問い合わせをいただきましたが、イダカフェでの「くじら座」のライブは、もともと老若男女何歳でもOKなライブです。また、高校生以下のお客様はミュージックチャージを無料にしています。気軽に生演奏を楽しむきっかけになってほしいと考えている

老若男女何歳でもOKなライブ

からです。その他何かありましたら些細なことでもお気軽にお問い合わせ下さい。一緒に音楽を楽しむ企画を考えませんか。このようにこの日はこれまでの「くじら座」ライブ史上で一番小さなお客さんがいらしたため、終始和やかな雰囲気でした。その小さなお客様は我々演奏者よりも人気者でした…(嫉妬・笑) そんなわけで「ライブ」というのも出たとこ勝負なので、実はふたを開けるまで毎回どうなるかドキドキなんです(笑)。オープン前から並んで下さった「くじら座」と「Puca」それぞれのファン

の方の姿を見てときどきが前向きなパワーになりました。特に「イダカフェアコースティック・ライブ」は、「くじら座」のオリジナル企画・構成・運営をさせていただいておりますので、いろいろなお客さんをお招きしたライブの日限定的「くみオリジナルフード」を提供させていただいたり、また毎回色々なチャレンジができるのも「イダカフェ」をはじめとするこの「楽の街。井田中ノ町」という街の魅力だと思っています。これからも小さい可愛いお客様から地域の老若男女の方々までが気軽に参加出来るような「ライブ」を企画して行きたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。




▲Puca ▲最年少のライブ参加者 ▲くじら座

モトスミ Jazz Night

詳しくは モトスミ Jazz Night 委員会 Mail:motosumijazznight@gmail.com TEL 050-5275-5740

フォレストコーヒー

イダナカ商店街店&サライ通り店

中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭

ブレーメン通り商店街、鉄板焼き

中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30 (LO 22:00)(休:火曜日)

Report from my next chorus

2017年も半分が過ぎました!すっかり忘れていましたが、私がMマガジンに寄稿を初めて一周年を迎えました。(先月でちょうど12回、今回で13回目。ちょうど1オクターブを過ぎて2週目に入るところです。)毎回拙い文章におつきあいいただきありがとうございます。これからもポップかつ面白い文章を投稿していこうと思いますのでよろしくお願致します!(多分、年初にも同じことを書きました。笑)



さて、改めましてちょうど一周をして節目なので、改めてこの場をお借りし私の自己紹介をしていきたいと思います。もう名前がみなさん覚えていただいたと思います。松波陽介と申します。生まれは宮城県石巻市、育ちは千葉県千葉市で、近くには幕張メッセや、マリンスタジアムなどがある臨海地区で育ちました。生まれも育ちも海の近くであるので、未だになんとか落ち込んだ時は海や川を眺めるとなんとなく心が晴れる気がしています。ちょうど元住吉に居を改めたのは2010年のことでした。当時はバンドマンに憧れ、楽器漬けの毎日でありました。本当に1日1日が楽しく、あつという間に過ぎていきました。なかなか音楽では成果が出せずに、その後バンドマンの夢は諦めてなんとなく悶々としていました。

そうして心機一転、新たな道を目指し始めた矢先にまさかのヘルニアで入院、という一大事に見舞われました。が、手術もして無事に事なきを得ました。そんな退

院の帰り道の途中に音友会のレコード喫茶の看板を目にしたのです。(現在は音友レコード倶楽部) そんなこんなで初めて音友会に足を運ぶようになり、気付けばボランティアスタッフから正式メンバーになって、Mマガジンへの寄稿を始めた、というような流れで活動するようになりました。

今現在は、音友会の活動をしつつ、教員を目指しています。一度は夢破れても、未だに音楽の近くにいられること、このような機会を与えてくださった方々に本当に感謝して止みません。音楽も教育も「何かを人に伝える」ということで繋がっているのではないかなあ、そんなようなことが僕にとつての天職であるのかな、ということも最近考え始めました。そんな教育の中で僕は非常に「特別支援」という分野に興味があり、フリースクールでボランティアをしています。そこにはなんらかの「支援」が必要な子どもたちが集まっていて、どのよ

うにしたらよりよく学習ができるか、よりよくコミュニケーションをとることが出来るか、ということと一緒に考えながら活動しています。そのような活動を通して、僕らが「支援」すると同時に子どもたちから学ぶこともたくさんあるのです。彼らの考え方、物の見方、というのは我々大人が想像もつかないようなものばかりで、毎回毎回が発見の連続です。考えを共有すると同時に同じ目標に向かって行く、ということはなんとなくバンド活動と似ているような気もしています。分野は変わってしまったけれど、結局自分はそのようなことにやりがい、生きがいを感じているのだな、ということを考える今日この頃です。

私事も私事、全くジャズのことは離れてしまいました(笑) 来月からはまた真面目に(?)ジャズ談義をしていきたいと思いますので、何卒ご容赦ください。最後に脈絡もなく思い出したことがあります。みなさんは自分の姿が第三者的な目線で見えた、という経験がありますでしょうか?僕は実際に一回だけあります。(決してオカルト的な意味ではないです(笑) 演奏中にバンドのメンバー、観客の姿、そして演奏している自分の姿を俯瞰して見えたのです。その時の演奏の様子、どのようなことをしたのか、ということは今でもはっきりと覚えているのです。そして、そのようなことを世阿弥の『風姿花伝』という著書で具体的に書いているのですが、そのことに関してはまた次回。



58年前の演奏だとは思えない!

これからもずっと聴き続けられる事でしょう。

いきなり私事で恐縮なのですが、私は1959年5月3日生まれなんです。そう、私が大好きなハードバップの全盛期、と言うか真っ只中ですね。ある時、暇つぶしに、ブルーノートレーベルの解説書をバラバラ読んでいたら、大好きなアルバムが1959年5月2日に録音されたことを知ったんです!日本とニューヨークの時差を考えたら、まさに私がこの世に生まれ出たその時、録音の為に演奏をしている真っ最中だったかもしれないですよ。何だか凄くないですか?まあ、「だから、何だ!」って話ですけど・・・

で、今回はそのアルバムを中心に何枚か紹介させていただきます。そのアルバムとはジャッキー・マクリーン「NEW SOIL」<BLP-4013>(写真①)です。ジャッキー・マクリーンファンの方、お待たせいたしました!

アルバムタイトル「NEW SOIL」は「新しい土地」とでも訳しましょうか?この時期、ブレストッジとの契約が終了し新たに契約したBLUE NOTEでの第1作になります。タイトルからしてやる気満々ですね!実際、このアルバムは5週間ものリハーサルの後、録音をしたそうです。それまでのジャッキー・マクリーンと言えば、マル・ウィルドロンとの共演「LEFT ALONE」に代表されるような「哀愁のマクリーン節」などのイメージが強かったのですが、このアルバムでは新しいJAZZの潮流に挑戦をする姿が見受けられます。もちろんハードバップの色合いが強いので

すが、時折混ざる新主流派の匂いがカッコ良いです。特にA面の2曲はジャッキーの作品で、まさに次のステージを見据えた演奏と言っても良いのではないのでしょうか?どこか斬新で前向きな演奏に聴こえます。打って変わって、B面はハードバップに軸足を置いてゴキゲンなナンバーが続きます。ドナルド・バード(tp)との相性はいつも通りバッチリで、言う事無いですね。

また、このアルバムで特筆すべきは、ピアニストのウォルター・デイビス・ジュニアです。B面の3曲全てを作曲していて、どの曲もしっかりとしたレベルの高いハードバップに仕上がっています。更に彼は、この3か月後に全曲オリジナルの初のリーダーアルバム「DAVIS CUP」<BLP-4018>を録音しています。このアルバムもジャッキー・マクリーンとドナルド・バードをフロントラインに迎え、正に4000番台っぽいバリバリのハードバップを繰り広げています。こちらもお勧めですよ。是非、聴いてみてください。

話は戻って、「NEW SOIL」は次にご紹介する、同じ時期に録音された他の2枚より、知名度は落ちますが、なかなかどうして、ブルーノートの4000番台を代表する1枚とすれば良いのではないのでしょうか?あと20~30年もすれば私はもう居なくなっちゃうと思うのですが、同じ日に生まれたこのアルバムは増々人々に愛される1枚になって行くことでしょう。

さて、ついでにご紹介したいのは、まず、

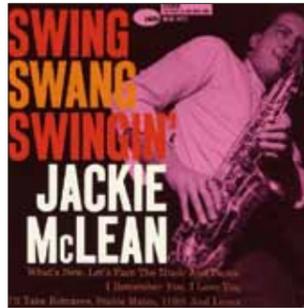


「SWING, SWANG, SWIGIN」<BLP-4024>(写真②)。この録音は1959年10月2日。このアルバムは新主流派とか、モードとか難しい事は一切抜きにして、最高に楽しめる1枚です。マクリーンがワンホーンでただスタンダードを吹きまくる!マクリーンからファンへのプレゼントのようなアルバムですね。1曲目「What's New?」のさりげない出だしから、最後まで、ずーっと気分良く聴いていられます。もし、あなたがジャズを聴き始めたばかりなら、マイルスやエバンスも良いですけど、是非このアルバムを聴いてみて下さい。きっとジャズが大好きになりますよ。そして、ジャズの泥沼にハマって行く事でしょう(笑)。

最後にご紹介したいのは、「JACKIE'S BAG」<BLP-4051>(写真③)。録音はA面が1959年1月18日、B面は1960年9月1日。このアルバムはジャッキー・マクリーンを代表する1枚に数えても良いのではないのでしょうか。実はA面がブルーノートでの初セッションになります。かなり気合の入った尖った演奏ですが、私はB面が好きです。CDで言うと4曲目の「Appointment In Ghana」から後です。6月号で紹介したティナ・ブルックス(ts)も聴きどころのひとつです。字数がオーバーしてしまいましたので、急に終わりますが、名盤ですので聴いてみてください。



▲①ジャッキー・マクリーン「NEW SOIL」



▲②「SWING, SWANG, SWIGIN」



▲③「JACKIE'S BAG」

音楽を通して気さくに語り合える集いです。音楽好きな友の会
音友レコード倶楽部
Jazz cafe 1955 1996
ONTOMO Music Record Club
【お知らせ】月二回行われています「ジャズカフェ」の名称が「音友レコード倶楽部」に変わりました。
8月6日(日) / 8月20日(日) 午後1:30~午後4:30
イダナカ商店街 / 井田小学校正門前 イダカフェ 参加費¥500 / 飲み物¥500円(クッキー付き)

「ポップスからジャズの日」は遠方から常連の3方が参加。



▲①The Pied Pipers



▲②Sergio Mendes & BRASIL '66

「ジャズ専科」もほぼ満席。

雨模様にもかかわらず多くの方がおいで下り、カフェ内もほぼ満席となりました。持ち寄りタイムでは4人の方の音源持ち寄りがありました。スタン・ゲッツが好きという初参加の方をスタートに、クラーク=ポーラン・ビッグ・バンド、ジョニー・グリフィン、女性ヴォーカルのシャンティと続いた後、懐かしいジョニー・スミスのLPがカフェ内に流れました。DJタイム前半は「ベニー・カーター」の特集でした。カーターはジョニー・ホッジス、ウィリー・スミスと共にスウィング時代の3大アルトサクソ奏者の一人と称されますが、95歳の長寿を全うした人でした。拙生が感激したのは、アルバム「Benny Carter With Strings」(写真1)からの定番2曲でした。「ラウンド・アバウト・ミッドナイト」は今まで数多く聴いた演奏の中でも心に響く秀逸な演奏でしたし、「ビューティフル・ラブ」ではカーターの得意なアレンジ力を感じました。ウィズ・ストリングスの愛聴盤として手元に置きたくなりました。次にインバリス第一弾となる「Further Definitions」ではフィル・ウッズ、コールマン・ホーキンス、チャーリー・ラウスなど豪華メンバーのサクソ・アンサンブルに魅了されました。このアルバムの追加盤となる「Additions To Further Definitions」のメンバーであるピアニストDon Abneyが隣駅の日記に住んでいた頃、後半でDJを務めたスタッフは「近所のカフェでAbneyのピアノを目の前で聴き、飲談した」というオマケ話もありました。過去に来日公演を聴きに行かれるなど、The

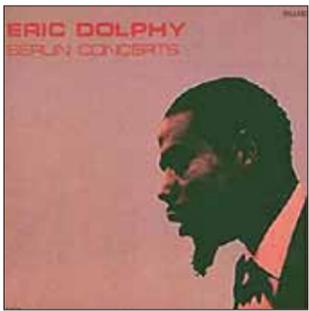


▲① Benny Carter / With Strings

初参加の男性がNHK-TV「サラメシ」のエンディングテーマ、バイド・バイバースの「ドリーム①」を、常連は季節柄と大阪万博にも参加の「セルジオ・メンデス'66②」で、そしてスタッフのリクエストで「ジョーカー」など聴いて楽しめました。またスタッフ自身が「胸キュン」としてまとめたCDの中から今井美樹の「ふたり」の歌詞は「悲しい別れ」なのに曲調が軽快すぎて変な曲なのだが「胸キュン」・・・とじっくり皆さんと聴いてみました。初参加の女性の方は全般的に静かに聞き入っていました。もう1人のコンピレーションCD作品が上手な常連はその中からポップスからジャズまで6曲を披露していただきました。(塚田親一・記)

コードから聴くことができました。「Clifford Brown/Max Roach Quintet - The Last Concert」からスタンダード曲「You Go to My Head」を紹介していただきましたが、1956年の6月18日の録音なので死去の8日前となり、文字通りのラストコンサートですね。また共演したソニー・ロリンスはこの演奏日の4日後にあの超名盤「サクソフォン・コロッセ」を吹き込んだという解説もありました。演奏終了後に「この曲名の意味するところは?」と尋ねられたゲストもおられました。歌詞の和訳にある「諦めきれないあなた、忘れられぬ君」のニュアンスなのでよね。このDJの方の企画コーナーは拙生の最高の楽しみであり、電車で1時間以上もかかるにもかかわらず元住吉へ通う、月一度の定例会が待ち遠しくなりません。

皆様、またのお越しをお待ちしています。(K.T記)



▲② ERIC DOLPHY / BERLIN CONCERTS

旬と音楽

こんにちは、くじら座のピアノ&コーラス担当牧野くみです。先日、日本さかな検定という試験を受けてきました。四択マークシートを100問70分で解くという、大学受験以来久しぶりに緊張感を伴った試験でした。ライブ本番以上に緊張したかもしれない(笑) 私の地元は北海道の海沿い、漁業のさかな町です。秋には鮭がよく獲れます。お祝い事、保存食...私は何かにつけ節目で鮭が出てくるのは当たり前だと思っていたのですが、同じ日本でも西か東かで大事にされている魚の種類も違って、西の方ではブリが重宝されているというのも検定の勉強をしてから知りました。

検定の勉強を始めてから、それぞれの地域の伝統や文化と、それに伴った旬や季節をすく意識するようになった気がします。桜は春、ひまわりは

くじら座・牧野くみ

夏、というように、曲のタイトルや歌の歌詞に季節を表す言葉が入っていると、その楽曲を聴く際にイメージがとても具体的になります。今は養殖や冷凍の技術が発達し季節を問わず流通がありますが、天然のお魚には本来旬があり季節を感じながら昔の人は生活していたのだと思います。余談ですが池波正太郎さんのエッセイが素晴らしく季節感に溢れており、ちょっとした短い文章の中に音、食事、空気...日々の生活の中で色々な角度から季節の移り変わりや自然への愛情を感じることができま

す。ところで音楽と魚...一見関係ないように思いますが検定試験には音楽に関する問題も出題されました。「ニシン漁やその盛衰をうたった歌のうち誤りを選びなさい...①秋田音頭 ②石狩挽歌 ③江差追分 ④ソーラン節」皆様おわかりでしょうか? 正解は①の秋田音頭で、これは秋田県



で歌われるハタハタに関する歌です。他3つの選択肢はどれも北海道の民謡でニシンに関連しています。私は間違えました...北海道出身なのに勉強不足でとても悔しいけれど、他にもどんな音楽があるのか興味が湧いたのでこれを機に各地の民謡などについてもっと掘り下げて調べてみたいと思っています。気になる結果は8月上旬ということなので、皆様がこのMマガジンをお手に取って下さる頃でしょうか。試験は終わったけれど私は今後のライフワークとして魚の勉強は続けていきたいと考えています。そこから見えてくる旬や人々の生活の営みから新たな音楽が生まれるかもしれません。

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!

音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。天井が高く、残響もとても心地よい空間です。その特性を生かし大きな音で聴くのではなく、ホールで聴くライブ感覚をこのカフェは醸し出しています。週末のこともあり、店の名前は「Cool Down j.」。一週間の疲れを安らげる無理のないサウンドで、心を癒して帰途についていただきたい。おいしいコーヒーとお酒。おつまみをご用意しています。

Every Friday is a jazzy night, Let's heal the fatigue of work
Mマガジン持参の方お1人様1回につき、1ドリンクサービス!
★ ida cafe Friday Night ★
Cool Down-J.
毎週金曜日 17:00-23:00 L.O.22:30
元住吉駅西口下車、プレーメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前



▲CAV T-88a